SYLLABUS 2026

小2

CONTENTS

- 1 年間スケジュール
- 3 国語の学習
- 4 算数の学習
- 5 授業の進め方
- 6 家庭学習の進め方
- 7 『読書ノート』の使い方
- 8 前期カリキュラム
- 15 後期カリキュラム
- 21 授業カレンダー





年間スケジュール

		授業	テスト	イベント		
² 0 2 2 2 2 7		● 新学年オリエンテーション				
3月		春期講習会	★ワセアカチャレンジテスト3月	● 保護者会 母 告 会 試		
4 月	前期	10日				
5月			★ ジャンプテスト①	●保護者会		
6月			全国統一小学生テスト★ワセアカチャレンジテスト6月	● 保護者会 有 名 中		
7 月		夏期講習会		● 保護者会 (有名中学校見学会・講演会) ● 個別面談 ● 保護者会		
8月		昭日会	★ワセアカチャレンジテスト8月	● 保護者会		
9 月		● 新学期オリエンテーション				
10 月			★ ジャンプテスト②	保護者会イライン (有名中秋学フー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
11 月	後期		全国統一小学生テスト★ワセアカチャレンジテスト11月	保護者会(有名中学校講演会)保護者会		
12 月		冬期講習会		●個別面談		
2 0 7 1 年 月		会	★ ジャンプテスト③	● 保護者会		

テスト

● ジャンプテスト (5月・10月・1月実施)

塾生対象の試験範囲のあるテストで、授業の一環として行われます。スーパーキッズコースで学習した内容や家庭学習で身につけた内容の定着度を測る出題が多いため、ワセアカチャレンジテストよりも平均点は高めになります。目標設定や学習内容、学習姿勢の振り返りに活用します。成績優秀者は早稲田アカデミー Online上の塾内報『WIN Kids』にて掲載いたします。

ワセアカチャレンジテスト (3月・6月・8月・11月実施)

塾生でない方も受験できる早稲田アカデミー主催の公開テストです。その時点でのお子様の習熟度や、思考力・表現力などを確認します。試験終了後、ご希望の方には、個人成績表をもとにした学習カウンセリングも実施しています。〇×だけではわからないお子様の特性や将来に向けた学習プランをご提示します。成績優秀者は早稲田アカデミー Online上の塾内報『WIN Kids』にて掲載いたします。オープンテストですが、塾生は必修としており別途お申し込みの必要なくご受験いただけます。

● 全国統一小学生テスト(6月・11月実施予定)

四谷大塚主催の日本最大級の無料公開試験です。基礎力を問う問題から難関中学受験に必要とされる応用力・思考力を問う問題までバランスよく出題されますので、その時点でのお子様の学力や習熟度を測ることが可能です。また、毎年6月と11月に小学生全学年を対象として実施されますので、継続的に受験することで、お子様の学力の変化を確認することができます。

中学・高校受験は、多くの場合、地域ごとに行われますが、大学受験では全国のライバルと競い合うことになります。中学受験をするしないにかかわらず、お子様の将来にとって有意義なテストとなりますので、積極的かつ継続的な受験をおすすめいたします。

イベント

● 夏フェス

「夏フェス」は毎年大好評をいただいている早稲田アカデミー主催の学校見学会・講演会です。「学校見学会」では、実際に学校へ足を運んで、各中学校の先生のお話や実際の生徒たちの様子、学校の設備などを確認できます。ご自身の目や耳で実際に確認することで、学校の本当の姿が見えてきます。

● 秋フェス

複数の学校の先生方をお招きし、学校の魅力を直接お話しいただく「秋フェス」の講演会では、学校の特徴を深く知ることで、お子様に合った学校を探すことができます。

● 中学入試報告会

「中学入試報告会」では、中学入試概況や次年度入試の展望についてお伝えいたします。

早稲田アカデミーの小6難関中学受験対策「NN(何がなんでも)志望校別コース」で指導を行う経験豊富な講師が、科目別の問題分析や傾向について解説いたします。

テストの際は保護者会と解説授業を実施

ジャンプテストとワセアカチャレンジテスト、全国統一小学生テストの際には、保護者会と解説授業を実施します。

お子様がテストを受けている間に、別室で保護者会を開催します。保護者会の内容は主に、「家庭での学習におけるアドバイス」「テスト問題のポイント」「中学入試の最新動向」などです。

テストと保護者会終了後には、その日のテストの解説を行う、解説授業を実施します。その場で答え合わせや、間違えた問題の解き方を確認することができます。



国語の学習

読解力

10ページに及ぶ長い文章や、短くとも 深い理解を必要とする文章を通じて、読 解力を育てていきます。重要な表現や文 章構造を一緒に見抜いていくなかで、自 分の力で物語の展開や人物の心情を整 理・理解する姿勢を培うことで、中学入 試で求められる精読力を高めます。

記述表現力

一つの要素だけでなく、複数の要素を探し、他者に伝わるように再構成するトレーニングを通じて、過不足のない記述表現力を鍛えます。優先順位の判断や要素の接続の仕方など、その場での添削を通じてお子様一人ひとりへのフィードバックを行うことでより深い理解につなげます。

語彙力

低学年の時期は、日常生活の中で語彙が広がる時期です。特に、心情や性格を表す語句を多く扱うことで、お子様の将来的な読解力・記述表現力の伸長の礎を築きます。授業内ではお子様が使われた言葉をもとに、発展的な言い換えや対義表現を引き出すことで、派生的に知識の拡充を図ります。

教材の紹介

テキスト

毎回、授業の始めにお渡ししますので予習の必要はありません。国語・算数合本の冊子で、答えはテキストに直接書き込みます。テキストを開くのがいつも楽しみになるフルカラーの教材で、お子様の興味を引き付けます。長めの文章でも集中して読めるよう、挿絵なども配置し、内容理解に導きます。記述解答欄も大きめに配置し、解答の横に書き直しができるようにしてあります。自分の解答に「何が足りなかったのか」

「何を付け加えるべきか」などの視点が持てるよう、よ

り洗練された解答へ導きます。授業で扱わなかった

問題をご家庭で無理に取り組む必要はありません。



授業用

ウィークリーステップ

家庭学習用

毎回の授業でお渡しする家庭学習 用教材です。国語・算数合本の冊子 です。次回の授業でご提出いただき ますが、授業前の自習時間に取り組 んでいただいても構いません。言語知 識を中心に、基本問題から発展問題 までを網羅していますので、語彙力強 化の一助としてご活用ください。直接 書き込み、丸付けおよび解き直しをし てご提出ください。



読書ノート

家庭学習用

読書の機会を増やすための家庭学習用教材です。より読書に親しんでもらえるよう、本を読んだ感想だけでなく、好きな登場人物や場面などを書く欄を設けています。お子様が好きなジャンルの本から読み始めてください。また、「読書ラリー」ページでは、お子様が本を1冊読み終えるごとにマスが埋まっていきます。これにより「自分の頑張りを可視化」し、お子様が本をどんどん読みたくなるような意欲を刺激していきます。

漢字・計算

家庭学習用

家庭学習用教材です。年3回実施される「ジャンプテスト」に出題される漢字問題の範囲は、この教材から指定します。「筆順」や「とめ・はね・はらい」はもちろんのこと、「音読み・訓読み」や「用例」も意識しながら、ご家庭で専用ノートに練習するなど、計画的に進めてください。 ご提出の必要はありません。

保護者用解答解説書

家庭学習用

保護者様に解答のポイントなどをお示しする解答解説書です。毎回、読解問題の解説には、解答根拠となる部分が一見してわかるような内容を掲載しております。お子様が文章中のどこに着目すれば良いのかなどを見ていただき、ご家庭での確認や復習にご活用ください。



計算力と理解力

低学年で何よりも大切なのは、数の扱いに慣れること、そしてゆるぎない計算力を身につけることです。繰り上がり・繰り下がり、大きい数、計算の工夫など、算数の基礎となる力を着実に育てます。また時刻と時計、カレンダーと日数計算など、身近なものや日々の生活で触れる具体的な事柄と関連させることで、単に抽象的な理解にとどまることなく、体験に裏打ちされた深い理解を育みます。

図形を見る「眼」

与えられた図形全体を捉えるだけでなく、必要な形が浮き上がって見えてくるようになることが必要です。図形を分析して見る力は、短期間で簡単に養成できるものではありません。何よりも図形に触れる豊富な経験が必要です。図形パズルなどを通して、楽しみながら図形を見る「眼」を養います。

試行錯誤する力

算数では、機械的に処理できる問題と思考力を要する問題とがあります。一目ですぐにわかることを確実に処理できるようにしていく一方で、さまざまな条件を矛盾なく整理し、数え上げ、推理するなど、思いつきに頼ることなくじっくり考えていく力を鍛えることが必要です。簡単に諦めず、時にヒントをもらいながら、粘り強く考える体験を積むことで、試行錯誤する力を築き上げます。

教材の紹介

テキスト

授業用

毎回、授業の始めにお渡ししますので予習の必要はありません。国語・算数合本のカラー冊子で、答えはテキストに直接書き込みます。小2の授業には、今日はこの解法を定着させなければならない、というカリキュラムはありません。テキストに掲載されている問題は、感性を磨く、論理的に考えを進める経験を積むためのツールですので、授業で扱わなかった問題をご家庭で無理に取り組む必要はありません。また、式や考え方を、相手がわかるように書くことにこだわる必要もありません。考えるときは考えることに集中させ、答えを確認するときに、どうやって考えたかを言葉で(口頭で)説明できるようになれば低学年の段階では十分です。



ウィークリーステップ(家庭学習用)

毎回の授業でお渡しする家庭 学習用教材です。国語・算数合本 の冊子です。その日の授業内容の 定着を目的とした教材です。次回 の授業で提出していただきます が、授業前の自習時間に取り組ん でいただいても構いません。直接 書き込み、丸付けおよび解き直し をしてご提出ください。



算数演習問題集

家庭学習用

年に4回(春・夏・秋・冬)配付する家庭学習用教材です。中学入試問題につながる思考力を要する問題を掲載しています。難問に対応する力を養成するための教材です。

※配布時期 春:前期第6回 夏:前期第17回 秋:10月ジャンプテスト 冬:後期第11回

漢字・計算 家庭学習用

家庭学習用教材です。年3回実施される「ジャンプテスト」に出題される計算問題の範囲は、この教材から指定します。計算手法を教える時間を授業内にはそれほど設けておりませんので、ご家庭で演習し、定着を図っていただければ幸いです。直接書き込む、ノートで反復練習するなど、お子様に合ったかたちでご使用ください。ご提出の必要はありません。

保護者用解答解説書

家庭学習用

保護者様に解答のポイントなどをご説明する解答解説書です。低学年時の算数は、授業中の思考や講師との対話が大切ですので、授業で扱いきれなかった問題に取り組んでいただく必要はありませんが、ご家庭で問題に取り組んだ際は、こちらを丸付けの参考に、またお子様との対話にご活用ください。

授業の進め方

 あいさつ 	良い姿勢で「よろしくお願いします」とあいさつをします。
② 出席の確認	名前を呼ばれたら、「はい」と返事をします。
③ 国語 · 算数の学習	話を聞くときは、鉛筆をおいて、講師の顔を見て聞くこと、答えがわかったら静かに手を挙げてあてられた 人が答えることを指導します。
4 片付け	忘れ物がないように、机の中を確認します。
⑤ あいさつ	良い姿勢で「ありがとうございました」とあいさつをします。

授業の後には、約10分程度「ブリーフィング」を実施し、保護者様にその日の授業のポイントなどをお伝えします。ご家庭での学習の進め方などもお話しさせていただきますので、ぜひご参加ください。

国語

読解問題の文章は講師が範読します。お子様は目で文章を追いながら内容の理解に集中していただき、耳から的確に情報を得る練習を積んでいただきます。また、習熟度に応じてお子様に音読や通読をしていただくこともあります。講師との質疑応答を踏まえて内容理解を深め、頭の中でイメージを膨らませてから実際に解答を書くことで、お子様自身が考えついた内容を積極的に言語化できるように促します。また、記述解答式の問題を優先的に扱い、講師が添削指導をしていきます。そのため、授業では扱わない問題もあります。

別途、記述表現力を高める問題も扱いながら(2年生「前期第3回」の授業まで)、「記述解答の土台」をつくっていきます。お子様の自由な発想と、正しい文法の知識を兼ね備えた豊かな記述表現力の成長をお確かめください。

算数

限られた時間で筋道を立てて考えを進め、答えを導き出す経験を積み上げることを目的とした「パズル問題」から授業が始まります。次に、その日のテーマ問題を扱います。新出内容の説明→演習→類題演習による定着、という授業ではなく、はじめて目にする問題を、自分なりの方法で考えてもらうことを大切にします。この時間があるからこそ、その後講師から出される「ヒント」が意味を持ちます。ヒントを参考にしながらも、最後は自分で答えを出すことが目標です。ご家庭で『ウィークリーステップ』を用いてその日の考え方を定着させる演習を進めてください。

持ち物

● 筆記用具 (鉛筆・消しゴム・赤と青の色鉛筆・定規)

正しい書き方を身につけるため、シャープペンシルやボールペンの使用は避けてください。 消しゴムは消しやすいものを持たせてください。

● 宿題やその他提出物

ウィークリーステップ・読書ノート など

- 入退出カード「HotConPass(ホットコンパス)」
- 入塾時にお渡ししたダブルポケットファイル
- 宿題スタンプラリー



家庭学習の進め方

以下の優先順位でお進めください。

❶ ウィークリーステップ [※]	毎回の授業で1冊お渡しします。次回授業日までを目安に進めてください。

② 漢字·計算

提出の必要はありませんが、ジャンプテストの試験範囲となりますので、ご家庭で進めていただきますようお願いいたします。また、市販の問題集などですでに学習を進めている方は、無理に取り組む必要はありません。

❸ 読書ノート

任意の課題です。2冊配付しますので、交互にご提出ください(年間2冊の使用が目安となります)。本を読んだ感想、好きな登場人物や場面などを書き、より読書に親しんでいただきます。 ぜひ、お子様が好きなジャンルの本から読み始めてください。

₫ 算数演習問題集※

算数の力を強化したい方、少し難しい問題に挑戦したい方は、ぜひ取り組んでください。

※ご家庭で丸付けをし、できる範囲で解き直しを済ませてご提出ください。

ご家庭での丸付けの効果

- ・解いた直後に丸付けをしていただくことで結果がすぐにわかり、学習効果が上がります。
- ・家庭学習の習慣が身につきやすくなります。
- ・お子様が頑張ってできたことをほめる機会になり、学習意欲の向上につながります。

国語

毎回、授業前にお渡しする『ウィークリーステップ』は、次回の授業でご提出ください。授業前の自習時間に取り組んでいただいても構いません。

また、授業で使用したテキストの文章はご家庭でお子様に音読していただくと、より学習効果が上がります。音読後に、物語文なら「場面(いつ・どこで・だれが・どうした)」を、説明文なら「話題(何について書かれているのか)」「結論(まとめ)」が何なのかをお子様に口頭で確認していただくことをおすすめしております。全て解き終えることよりも、文章の内容や流れがしっかり理解できているかを重視してください。

算数

算数の宿題は、原則『ウィークリーステップ』のみです。ご家庭で丸付けをし、できる範囲で解き直しを済ませてご提出ください。また、『漢字・計算』は、宿題ではありませんが、ジャンプテストの試験範囲となりますので、ご家庭で計画的に進めていただきますようお願いいたします。

映像授業の活用

「映像授業コース」の動画を「早稲田アカデミーOnline」に公開しており、メニューの「学習コンテンツ」からご視聴いただけます。 ご家庭で授業後にもう一度内容を確認する場合などにご活用ください。

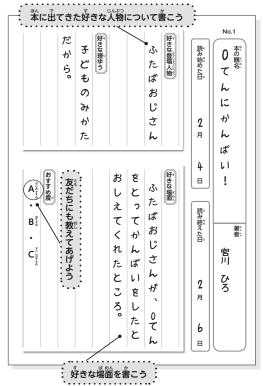
『読書ノート』の使い方

『読書ノート』は、読書の機会を増やすための家庭学習用教材です。

- より読書に親しんでもらうため、本を読んだ感想だけでなく、好きな登場人物や場面などを書く欄を設けています。
- お子様が好きなジャンルの本から読み始めてください。







● 巻末の「読書ラリー」ページでは、お子様が本を1冊読み終えるごとにマスが埋まっていきます。これにより、「自分の頑張りを可視化」し、お子様が本をどんどん読みたくなるよう、意欲を刺激していきます。



前期カリキュラム 2月~7月(全17回)

	国語		算 数		
第 1 回	物語文	文章の要約①	さいころころがし①	文章題①	
第 2 回	物語文	文章の要約②	さいころころがし②	長さの単位と計算	
第 3 回	物語文	文章の要約③	さいころころがし③	文章題②、円の性質	
第 4 回	物語文		間違い問題①	三角形	
第 5 回	物語文		間違い問題②	かくれんぼ計算、数の大小比較	
第 6 回	物語文		間違い問題③	四角形	
		春期講習会			
第7回	物語文		図形をころがす①	かさの単位と計算	
第 8 回	物語文		図形をころがす②	表とグラフ	
第 9 回	物語文		図形をころがす③ 分数の性質		
		第1回ジャンプテ	スト		
第10回	説明文		数の積み木①	円と正多角形	
第11回	物語文		数の積み木②	数を表す線	
第12回	物語文		折って足す①	箱を切り開く	
第13回	物語文		折って足す②	魔方陣、消去算	
第14回	物語文		折って足す③	線対称な形	
第15回	物語文		デジタル数字①	推理と条件整理	
第16回	物語文		デジタル数字②	平面図形パズル	
第17回	物語文		デジタル数字③	さまざまな文章題	
		夏期講習会			

※こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

ジャンプテスト(年間の予定はP.1)

授業で扱った内容とご家庭での学習内容の定着度、および応用力を確認するためのテストです。同日に保護者会を開催します。成績優秀者は早稲田アカデミーOnline上の『WIN Kids』にて掲載いたします。

試験範囲	国語	算数
第1回	・前期第9回までの学習内容と応用問題	・前期第9回までの学習内容と応用問題
(5月実施)	・『漢字・計算』の漢字P.10まで	・『漢字・計算』の計算P.15まで、P.24~28

●物語文

まずは、文章読解の基本を確認します。物語文では、登場人物の意図や 心情を、主観ではなく本文の内容を根拠に読み取ることが大切です。傍線 部の内容をわかりやすく説明し直すという、やや難度の高い記述問題に も挑戦し、解答根拠を押さえたうえで文としてまとめる方法を学びます。

● 文章の要約①

自然をテーマにした短い説明文の要約です。「説明文」の表現に 慣れるとともに、「要点 | を押さえながら、「結論 | を捉えます。

算数

● さいころころがし①

さいころの目のつき方を復習します。そして、さいころをいろいろな向きに転がしていったときに、上の面の目がどのように変わっていくかを考えます。向かい合う面の目の和が7ということも重要なポイントです。

● 文章題①

いろいろな文章題を正確に読んで、自分で式を立てて解けるように します。複雑な問題の場合には、線分図などを使って条件を整理す ることで簡単に理解できることを経験し、図や式の利用を学びます。

第2回

国語

●物語文

三匹の子ねこと共に成長していく子どもたちの姿を描いた物語を扱います。ことわざの意味や登場人物の言動の理由など、問われる内容はさまざまですが、「本文から解答根拠を見つけ出す」という基本に沿って取り組んでいきます。また、文章全体の展開を踏まえ、登場人物の心情をより深く読み取ることにも挑戦します。

文章の要約②

前期第1回に引き続き、自然をテーマにした短い説明文の要約です。 「要点」を押さえながら、「結論」を捉え、記述解答の形式でまとめます。

算数

● さいころころがし②

さいころを転がしていったときの上の目の移り変わりに、計算の要素も 加えて、理解を一層深めます。何回も回転していくような場合や、左右に 複雑に回転する場合でも、きちんと対処できるような方法を学びます。

●長さの単位と計算

単位の中でも、mm、cm、mといった長さの単位は最も身近なものなので、生活実感を伴って理解しやすいものです。まずはこの長さの単位を理解し、単位の換算や、長さの単位を含む計算が正確にできるようにします。

第3回

国語

●物語文

友達の姿に影響を受け、苦手なことを克服しようとする主人公の物語を扱います。登場人物の言葉のやりとりの中から事実を適切に読み取り、必要な内容をまとめて記述する問題が登場します。口語を文語に直すなどの、低学年のうちに身につけておきたい習慣を確認します。

文章の要約③

前期第1・2回より、やや長めの説明文を要約します。説明文のテーマに関して 興味を持ち、調べるなどして知識を深めていくことで、読解の手助けとなります。

算数

● さいころころがし③

さいころを転がしたときの目についての問題は、中学入試にもいくつか 出題例があります。さいころが複雑な動きをした場合にも目の変わり方 を追跡することができるように、発展的な問題にも取り組んでいきます。

文章題②、円の性質

複雑な条件の問題文もしっかり正確に読みこなすことができるようにします。文章題のほか、虫食い算や筆算パズルで試行錯誤して考える粘り強さを身につけます。また円に関して、その性質に触れて、理解を深めます。

●物語文

ファンタジー性の強い展開のなかにも、登場人物たちの意図や 心情がはっきりと描かれた作品を扱います。答え方や字数を指定 する問題を通して、条件を満たして解答するにはどうすれば良い かを考えます。また、景色や場面の表現に投影された人物の心情 を読み取るという新しい問題にも取り組みます。

算数

● 間違い問題①

数人の会話をもとにして順位を推理していく問題です。線分図に 整理して求めるなど、さまざまな工夫があって良いのですが、条件が 複雑になったときに対処するため、表に整理する方法を学びます。

●三角形

辺や頂点といった三角形の構造を学びます。角度についてはまだ扱いませんが、直角とは何かを理解できるようにして、三角形の種類(二等辺三角形、直角三角形、正三角形、直角二等辺三角形)と、その区別を学びます。

第5回

国語

●物語文

壮大な夢を思い描く少年たちの会話が中心となって展開される物語を扱います。主人公の視点で描かれた作品では、口語的な表現を文語で書かれた問題文に合わせて変換しながら解くという作業が求められます。まずは空欄補充、続いて記述問題で、その方法を確認します。

算数

● 間違い問題②

前回は3人の人物の会話をもとに推理しましたが、今回はその経験を生かし4人の会話から順位を推理する問題を扱います。また、ある1人のセリフが間違っていた場合に事情がどう変わるかを学びます。

● かくれんぼ計算、数の大小比較

足し算の覆面算を学習します。どこから考え始めれば良いかという 要領を学ぶとともに、粘り強く考える頭脳のスタミナを育みます。また 等号・不等号を学び、数の大小を数直線で整理することを学びます。

第6回

国語

●物語文

招待された里山での生活に戸惑いながらも、最後には大きな達成感を得る主人公の姿が描かれた作品を扱います。ある出来事の前後で大きく変化する主人公の心情を捉えて説明する記述問題や、比喩的な心情表現から具体的な内容を理解する選択肢の問題が登場しますが、いずれも文章全体の展開を踏まえて考えることが大切です。

算数

● 間違い問題③

会話をもとに条件を整理して推理する問題です。このような問題で難しいのは、間違った条件が含まれている場合です。3回目に当たる今回は、「誰かわからないが誰か1人の発言が間違っている」という条件で考えます。

● 四角形

四角形の辺や頂点といった構造を学ぶとともに、平行について学びます。 対辺が平行か、長さはどうかといったことから正方形と長方形、平行四辺形、 ひし形、台形などさまざまな四角形の種類の区別と関連について学びます。

●物語文

文章の大きな流れを把握したうえで問われている内容を読み取らなければならない問題が増えてきます。「(傍線部)とはどういうことか」という一見曖昧な問いかけが、本文中の言葉を用いて詳しく説明し直す「言い換え」であるということを押さえて、実際の記述に挑戦します。

算数

● 図形をころがす①

平面図形の転がり移動を学びます。中心と半径など、円についてまだ深い知識が不足している段階ではありますが、転がり移動によって頂点がどのように動くかを考えることで、平面図形の理解を深めます。

● かさの単位と計算

かさ(体積)を学びます。L、dL、mLといった単位を理解し、その 換算がスムーズにできるようにします。ペットボトルや紙パックな ど身近なものに目を向け、体積に興味が持てるよう指導します。

第8回

国語

●物語文

動物たちのユーモラスなやりとりから客観的な事実を読み取ることを求められる回です。登場人物の相互関係や、認識のずれなどを理解し、空欄に入る言葉を推測したり、心情の理由を記述したりする力が問われます。また、複数の条件を提示される記述問題にも取り組みます。

算数

● 図形をころがす②

平面図形の転がり移動の2回目です。図形の周りの移動に加え、 頂点の位置だけでなく、図形全体の向きを考えます。高学年で学 習する円弧や面積の計算にも直接つながる、重要な学習です。

● 表とグラフ

表とグラフについて学習します。円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフなどの代表的なグラフに関して、それぞれどういうときに利用されるかを考えます。またこれらに加え、運賃表などの見方を学びます。

第9回

国語

●物語文

弟の誕生に対する主人公の複雑な心情が描かれた作品を扱います。主人公の視点で進む物語では、主人公の認識や言動と作中における事実に齟齬がある場合もあるため、より丁寧かつ慎重な読解が求められます。文脈から事実を正確に読み取るとともに、「成長」という大きなテーマを理解することが狙いです。

算数

● 図形をころがす③

平面図形の転がり移動の学習の3回目です。直線上を転がる場合や、図形の周りを転がる場合など、これまで扱ったものの理解を確かめつつ、五角形の場合など、これまでより応用的な問題に挑戦します。

●分数の性質

分数がテーマです。分数の表し方や、分母が同じ場合、また分子が同じ場合の分数の大小比較について学びます。さらに等分の概念を身につけ、数を半分にすることを通じて、割り算の前段階的理解を育みます。

●説明文

「説明文」の問題に挑戦します。説明的文章は、学年が上がるにつれて抽象的・概念的な話題のものが増えていきます。まずは身近な事物の役割や仕組みについて、「つなぎ言葉」などを手掛かりに、正しく情報を読み取る力を養います。

算数

● 数の積み木①

隣り合わせの積み木に書かれた数字の和を上の段の積み木に書いていく計算パズルです。問題の出し方により、足し算や引き算の練習ができます。今回は第一段階として、楽しく計算の練習を行います。

●円と正多角形

ある点から等距離にある点の集合という円の概念や、半径と直径の 意味を扱います。また正多角形が円を等分したところにできる図形で あることを理解し、そこから正多角形の性質を学びます。

第11回

国語

●物語文

「昔話」として知られる物語の問題を扱う回です。古い時代特有の風物や言葉遣いが出てくる文章では、前後の文脈から意味を推測して補うことができるかが重要だということを、実際の問いを通して学びます。

算数

● 数の積み木②

数の積み木の2回目では、5段までの計算が楽しくできるようにします。また、数の積み木は単純な計算だけでなく、さまざまなパターンを含む、幅の広い仕掛けが可能な問題です。さまざまな設定に挑戦します。

●数を表す線

数直線の見方を学習します。1目盛りがいろいろな値をとるものについても学び、応用問題にも挑戦します。また、大きな数が出てくる数直線も扱い、大きな数に慣れます。加えて、規則性の問題も扱います。

第12回

国語

●物語文

登場人物のそれぞれの事情を読み取り、相互の関係や言動の 背景にある意図を答える問題が多く出題されます。また、比喩的 表現についての理解を深める問題にも触れ、より多様な設問に対 応する力を養います。

算数

● 折って足す①

紙を2つに折るときに、そこに書かれているどの数が重なるかを 考えるパズル問題です。パズル問題に挑むことを通じて、自然と 線対称について楽しみながら理解が深められます。

●箱を切り開く

立方体を切り開いて展開図をつくることを学びます。指定された辺を切り開くと、どんな展開図になるかは、最近の中学入試でも取り上げられています。また立方体の展開図の11種を学び、立体の理解を深めます。

●物語文

小学校に入学したばかりの主人公の悩みと成長が描かれた作品を扱います。その場面における断片的な情報だけではなく、物語全体の展開を踏まえて主人公の表情の理由を説明する記述問題が登場します。

算数

● 折って足す②

紙を2つに折るときに重なる数についてのパズル問題の2回目です。 さまざまに2つ折りできる図形において、和が最大になる場合、最小に なる場合など、条件を整理してどのように2つ折りするかを考えます。

● 魔方陣、消去算

3×3、4×4の魔方陣を扱います。また等差数列の和を工夫して求めるなどの進んだ問題にも挑戦します。さらに消去算や虫食い算などを通じて、試行錯誤しつつ粘り強く考える力を育みます。

第14回

国語

●物語文

ぎこちないながらも少しずつ距離を縮めていく主人公とねこの物語を扱います。問われている内容と条件を理解したうえで、必要な言葉を過不足なく書くという、より高い記述力が求められる設問に挑戦します。

算数

● 折って足す③

紙を2つに折るときに重なる数についてのパズル問題の3回目です。和が最大、最小など、条件にしたがって調べることが必要な問題ですが、効率的な調べ方ができるように工夫することが肝心です。

● 線対称な形

線対称の学習です。折り紙を折って、一部を切り取ってから再び紙を開いたとき、どういう形になるかの理解を通して線対称の理解を一層深めます。折る回数も1回だけではなくなるので、しっかり考える必要があります。

第15回

国語

●物語文

些細な出来事が思わぬ連鎖によって大きな結末をもたらす物語を扱います。異なる登場人物が同一の反応をしている場面を読み、それぞれの理由を捉えて説明する問題があります。さまざまな形式の記述問題に対応する力を養います。

算数

● デジタル数字①

時計や電卓に使われるデジタル数字を扱います。一部が壊れて 表示しないなどの条件のパズル問題にも挑みます。雙葉や早稲田 実業など難関中学の入試でも出題された内容です。

● 推理と条件整理

数字を入れると一定の計算をして答えを出す計算機の問題や、順番を 考える問題、油分け算として知られるパズル問題などを扱います。推理と 試行錯誤を通じて、理詰めや頭の中の可視化ができることが目標です。

●物語文

3匹の動物の子どもたちの日常が描かれた物語の問題を扱います。記述問題では、本文から読み取ることができる情報をまとめる練習をします。

算数

● デジタル数字②

デジタル表示を扱うパズル問題の2回目です。鏡に映って反転したものや、逆立ちして見たデジタル数字など、より一層応用的な問題を取り上げます。頭の中で考えるだけではなく、作業してみることが正解への糸口です。

● 平面図形パズル

4つの正方形の辺と辺を合わせてできるテトロミノ、5つの正方形のペントミノなど、平面図形のパズルを扱います。多くの場合が考えられるときには、思いついたものをただ描くことからさらに進み、整理して示すことができることが理想形です。

第17回

国語

●物語文

自分の力で困難を乗り越え、責任感や達成感を知る少年の成長譚です。抽象的・婉曲的な表現から具体的・直接的な意味を読み取ることに挑戦します。前期の総まとめともいうべき難度の高い記述問題にも挑戦します。

算数

● デジタル数字③

デジタル表示を扱うパズル問題の3回目です。1回目や2回目で 行った作業を利用できると理想的です。いろいろなタイプの時計算 は近年の入試のトレンドです。

● さまざまな文章題

図形分野では、図形の周りの長さを求める問題を、文章題では、条件が複雑な問題を扱います。また、3けたの数値を処理する和と差の問題や虫食い算も扱います。

後期カリキュラム 9月~1月(全13回)

	国語	算 数	
第 1 回	物語文	同じに分ける	()を使った式と計算
第 2 回	物語文	畑を仕切る①	正方形を作る
第 3 回	物語文	畑を仕切る②	掛け算
	第2回ジャンプテ	スト	
第 4 回	物語文	九九カード①	算数工作室(立体図形)
第 5 回	物語文	九九カード②	時刻と時間
第 6 回	物語文	置き換えの計算①	図形パズル・切り分け方
第7回	物語文	置き換えの計算②	きまりでならんだ形、回文数
第 8 回	物語文	置き換えの計算③	箱を切り開く、立方体の色塗り
第 9 回	物語文	折りたたんだ紙の上下①	大きな数と計算、長さの単位と計算
第10回	物語文	折りたたんだ紙の上下②	チェスの駒のうごき方
第11回	物語文	折りたたんだ紙の上下③	集合・ベン図
	冬期講習会		
第12回	説明文	一筆書き	ポリキューブ
	第3回ジャンプテ	スト	
第13回	物語文	パズル総合	3年生へのパスポート 〜総合問題〜

[※]こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

ジャンプテスト(年間の予定はP.1)

授業で扱った内容とご家庭での学習内容の定着度、および応用力を確認するためのテストです。同日に保護者会を開催します。成績優秀者は早稲田アカデミーOnline上の『WIN Kids』にて掲載いたします。

試験範囲	国語	算数
第2回	・後期第3回までの学習内容と応用問題	・後期第3回までの学習内容と応用問題
(10月実施)	・『漢字・計算』の漢字P.30まで、33、34	・『漢字・計算』の計算P.16~23、29~48
第3回	・後期第12回までの学習内容と応用問題	・後期第12回までの学習内容と応用問題
(1月実施)	・『漢字・計算』の漢字P.40まで	・『漢字・計算』の計算P.49~60

● 物語文

子どもたちが一致団結して問題を解決しようとする物語です。指示語や慣用的表現の理解を問う問題や、具体的な2つのものから抽象的な共通点を読み取り記述する問題に挑戦します。

算数

●同じに分ける

与えられた図形を、条件に従って同じ形になるように分割したり、形は 違っても同じ広さになるように分割したりするパズル問題です。答えが ひとつに定まらない場合も多く、粘り強く試行錯誤する力を育みます。

● () を使った式と計算

()を使った計算のルールを身につけます。同じ問題で()を使わない式にしたり、()を使う式で表したりして、()の仕組みを深く理解します。また、覆面算や虫食い算にじっくり取り組みます。

第2回

国語

● 物語文

時代設定が少し古い文章を2作品扱います。より適切な選択肢を 見極める問題や、詳細には書かれていない内容に込められた作者の メッセージを読み取り、自分の言葉で表現する問題に取り組みます。

算数

● 畑を仕切る①

図形を分割するという点で前回とつながりを持ちつつ、大きな長方形 を、与えられた条件を守りながら、小さな長方形に分割していく新たなパズル問題に挑戦します。論理と試行をうまく両立させることを学びます。

●正方形を作る

等間隔に打たれた点を結んで大小さまざまな正方形を描くなど、平面図形の 多様な問題に挑戦します。中学入試の頻出問題です。また一筆書きや、多くの目 が描かれた図の中からさいころの展開図を切り出す作業にも取り組みます。

第3回

国語

● 物語文

少し長めの文章を2作品扱います。2つ目の作品は、使用されている 語句が難しく、少々読みにくく感じるお子様も多いかもしれません。 要点を押さえてまとめることが求められる記述問題にも取り組みま す。

算数

● 畑を仕切る②

与えられた条件を満たしながら、大きな長方形を小さな長方形に分割していくパズル問題の2回目です。また正六角形や長方形を合同な形に6等分するなど、答えがひとつではないパズル問題にも挑みます。

●掛け算

掛け算の意味、九九の表から発展して、今までたし算で考えていたものについて、掛け算の式を立てて処理することを学びます。さらに0の掛け算など特殊な場合も経験し、加減との混合計算における計算の順序を身につけます。

● 物語文

素朴な作風の童話を2回に分けて扱います。記述式の問題が大半となっています。「設問に対して過不足なく答える」という意識を持ち、一度書いた答えを見直す習慣を身につけることが大切です。

算数

九九カード①

カードが2枚重なると掛け算をするというルールの「九九カード」を使ったパズル問題です。覚えたばかりの九九をさまざまに活用することで、九九の定着をさらに進めます。単純なものから複雑なものへと発展します。

● 算数工作室(立体図形)

さいころの展開図を自分で組み立てる作業を通じて、立体と展開図に ついての理解を深め、展開図の面と面が、組み立てたときにどのような位 置関係になるかを学びます。また図形の分割と構成の問題も扱います。

第5回

国語

● 物語文

後期第4回の続きを読み進めます。選択肢を選ぶ問題では、主観によらず、本文から根拠を探すことを指導します。後半に扱う詩は、リズム感に特徴があり、非常に読みやすい作品です。音読も交えつつ、詩の読解を学びます。

算数

九九カード②

九九をテーマにした掛け算パズルの2回目です。前回は出てくるカードが多くても5枚までの問題を扱いましたが、今回は、最大で13枚のカードが重なるという一層複雑な場合を扱い、九九の定着を図ります。

● 時刻と時間

時刻と時計に関しては1年生の後期第2回で学習していますが、今回はその復習を兼ねつつ、何分間、何時間という時間の計算を主に学習します。デジタル時計が普及していますが、まずアナログ時計の見方を徹底します。

第6回

国語

● 物語文

ファンタジーの要素を含む作品を扱います。記述問題では、問われていることに対して過不足なく解答することの大切さを改めて確認します。自分が書いた文を「見直す」習慣の定着を図ります。

算数

● 置き換えの計算①

覆面算です。SEND+MORE=MONEYなどで知られる覆面算はき わめて高度なパズル問題です。ヒントを生かしたり、とっかかりの場 所を探したり、知恵を絞って答えにたどりつく楽しさを味わいます。

● 図形パズル・切り分け方

タングラムに似た日本発祥の図形パズル「清少納言知恵の板」や、ルールに従ってマスの中に○や×を入れる場合の数、1本の線で一定のマスを囲む問題など、中学入試にも登場しているパズル問題を扱います。

● 物語文

ギリシア神話とイソップ童話の2作品を扱います。つなぎ言葉に注目して必要な情報を取り出し、簡潔にまとめる設問に挑戦します。また、キーワードを手掛かりにして脱文を戻す「脱文挿入」の問題をはじめて扱います。

算数

● 置き換えの計算②

覆面算の2回目です。一桁同士の2数の和がくり上がるなら「1」、3数の和がくり上がるなら「1」か「2」のどちらかであるなど、考えるポイントがいくつかあります。与えられたヒントを生かして考える経験を積みます。

● きまりでならんだ形、回文数

変形魔方陣などを扱う「計算マッチ」、ルールをもとにマス目の中から宝物を探すゲーム、「タケヤブヤケタ」などの回文の算数版など、楽しめるだけでなく入試にも直結する素材を扱います。

第8回

国語

● 物語文

モンゴルの民族楽器「馬頭琴」の由来にまつわる物語を扱います。 比喩表現の表すものを文脈から理解する問題や、明記されていない 心情を、出来事や人物の反応、文脈から考え、自分の言葉で表現する 問題に挑戦します。

算数

置き換えの計算③

高度な覆面算の3回目です。①②で学習した内容をもとに、手掛かりを自分で考えることに挑戦します。

● 箱を切り開く、立方体の色塗り

立方体の見取図で、切り開く辺を指定し、そこからどのような展開 図になるのかを考えます。近年の中学入試でも取り上げられている 問題で試行錯誤する経験を積みます。

第9回

国語

● 物語文

謎の生物が登場するファンタジー性と、理不尽に親に叱られる兄の心情というリアリティが融合した物語文です。比喩表現の問題や、一見矛盾する内容が表すことを適切に読み取る問題に挑戦します。

算数

● 折りたたんだ紙の上下①

条件通り折りたたんだときの紙の順序を考えるパズル問題です。 ア、イ、ウ、エの4か所で折りたたみますが、折る順番と、右を上にする のか左を上にするのかで、出来上がりの順番が異なることを学びます。

● 大きな数と計算、長さの単位と計算

10000までの大きな数とその計算(たし算とひき算)に取り組みます。また、mm、cmから、m、kmまでの長さの単位とその計算、特に単位の換算を主に扱います。さらに、億や兆といった位にも触れます。

●物語文

2作品を扱います。話の要点をまとめるなどの、非常に難度の高い 記述問題に挑戦します。本文からただ書き抜くのではなく、具体的な 事柄を抽象化するなどの工夫が必要となります。

算数

● 折りたたんだ紙の上下②

折りたたまれた紙の順番を考えさせるパズル問題の2回目です。この 問題は筑波大学附属駒場中の古い入試問題に淵源しています。難しい 問題も、基本をしっかり身につけることで、解くことができます。

● チェスの駒のうごき方

特徴的な動き方をするチェスの駒が、盤上のある位置へ行く方法が 何通りあるかを考えます。将棋やチェスもしばしば入試で取り上げられ ています。他にルールに従って数字をマスに入れる問題を扱います。

第11回

国語

●物語文

時代背景のやや古い自伝的物語文から、心情や主題を読み取ることに挑戦します。馴染みの薄い言葉の登場する文章を読解する力は、中学受験にもつながっていきます。

算数

● 折りたたんだ紙の上下③

折りたたまれた紙の順番を考えさせるパズル問題の3回目です。 1回目、2回目で身につけたことがスムーズにできるようになったか を確かめ、さらに複雑な問題に挑戦します。

● 集合・ベン図

集合を表すベン図の描き方を学び、集合と重なりを理解します。 集合以外の入試問題にも幅広く利用できる、大切な考え方です。

第12回

国語

●説明文

身近なものを題材とした読みやすい文章を通して、説明文の基本的な読み方を学びます。説明文では、何について説明している文章なのか、「話題」を掴み、「結論」がどこに書かれているかを確認することが大切です。

算数

● 一筆書き

一筆書きができる場合とできない場合の見分け方を学習します。 中学入試にもしばしば出題されますが、受験生でも盲点となりやす い部分です。

●ポリキューブ

同じ大きさの正方形を、辺と辺でぴったりと合わせて平面図形を作る「ポリオミノ」に対し、今回扱うのは、同じ立方体を面と面でぴったり合わせて立体を作る「ポリキューブ」です。立体である分、難しくなります。

● 物語文

外国の文学作品を扱います。同じような展開が繰り返され、次は どうなるのだろうと思いを巡らせながら読む楽しさを味わえます。 記述問題では、文脈を追って必要最低限の要素をまとめることが 大切です。

算数

● パズル総合

「テトリスブロック」「光線をあやつれ」の2種類のパズルを扱います。 はじめて扱う複雑なパズル問題ですが、その場でルールを理解し論理 を追い、試行錯誤ができるか、1年間で身につけた力を測ります。

●3年生へのパスポート ~総合問題~

2けた、3けたの計算などの計算分野に始まり、「長さとかさ」「時刻と時間」「図形」「掛け算」の各分野で2年生の総復習をします。

授業カレンダー[前期]

2026	月	火	水	木	金	土
2/1(日)						
2/2 (月)						
2/3 (火)						
2/4 (水)						
2/5 (木)						
2/6 (金)						
2/7 (土)						1
2/8 (日)						
2/9 (月)	1					
2/10 (火)		1				
2/11 (水)			1			
2/12 (木)				1		
2/13 (金)					1	
2/14 (土)						2
2/15 (日)						
2/16 (月)	2					
2/17 (火)		2				
2/18 (水)			2			
2/19 (木)				2		
2/20 (金)					2	
2/21 (土)						3
2/22 (日)						
2/23 (月)	3					
2/24 (火)		3				
2/25 (水)			3			
2/26 (木)				3		
2/27 (金)					3	
2/28 (土)						4

2026	月	火	水	木	金	±
3/1 (日)						
3/2 (月)	4					
3/3 (火)		4				
3/4 (水)			4			
3/5 (木)				4		
3/6 (金)					4	
3/7 (土)	7	フセア:	カチャ	レンシ	ジテス	٢
3/8 (日)						
3/9 (月)	5					
3/10 (火)		5				
3/11 (水)			5			
3/12 (木)				5		
3/13 (金)					5	
3/14 (土)						5
3/15 (日)						
3/16 (月)	6					
3/17 (火)		6				
3/18 (水)			6			
3/19 (木)				6		
3/20 (金)					6	
3/21 (土)						6
3/22 (日)						
3/23 (月)						
3/24 (火)						
3/25 (水)						
3/26 (木)						
3/27 (金)						
3/28 (土)						
3/29 (日)						
3/30 (月)						
3/31 (火)						$oxed{igwedge}$

2026	月	火	水	木	金	+
4/1 (水)	/3		小	小	317	工
4/2 (木)						
4/3 (金)						
4/4 (±)						
4/5 (日)						
4/6 (月)						
4/7 (火)						
4/8 (水)			7			
4/9 (木)				7		
4/10 (金)				-	7	
4/11 (±)					-	7
4/12 (日)						-
4/13 (月)	7					
4/14 (火)		7				
4/15 (水)			8			
4/16 (木)				8		
4/17 (金)					8	
4/18 (±)						8
4/19 (日)						
4/20 (月)	8					
4/21 (火)		8				
4/22 (水)			9			
4/23 (木)				9		
4/24 (金)					9	
4/25 (土)						9
4/26 (日)						
4/27 (月)	9					
4/28 (火)		9				
4/29 (水)						
4/30 (木)						

2026	月	火	水	木	金	±
5/1 (金)						
5/2 (土)						
5/3 (日)						
5/4 (月)						
5/5 (火)						
5/6 (水)						
5/7 (木)				JT		
5/8 (金)					JT	
5/9 (土)						JT
5/10 (日)						
5/11 (月)	JT					
5/12 (火)		JT				
5/13 (水)			JT			
5/14 (木)				10		
5/15 (金)					10	
5/16 (土)						10
5/17 (日)						
5/18 (月)	10					
5/19 (火)		10				
5/20 (水)			10			
5/21 (木)				11		
5/22 (金)					11	
5/23 (土)						11
5/24 (日)						
5/25 (月)	11					
5/26 (火)		11				
5/27 (水)			11			
5/28 (木)						
5/29 (金)						
5/30 (土)						
5/31 (日)						

2026	月	火	水	木	金	±
6/1 (月)	12		-3.	717	-712	
6/2 (火)	12	12				
6/3 (水)		12	12			
6/4 (木)			12	12		
6/5 (金)				12	12	
6/6 (±)					12	12
6/7 (日)		- - 全国:	 統 <i>—</i>	、学生:	テスト	
6/8 (月)		포(의)	ר. יומו	·	<i>,</i> , , , ,	
6/9 (火)						
6/10 (水)						
6/10 (水)						
6/11 (木)						
6/12 (並) 6/13 (土)						13
6/14 (日)						13
6/15 (月)	13					
6/16 (火)	13	13				
6/17 (水)		13	13			
6/17 (永)			13	13		
6/19 (金)				13	13	
6/20 (±)					13	14
6/20 (主)						14
	14					
6/22 (月)	14	14				
6/23 (火) 6/24 (水)		14	14			
			14	14		
6/25 (木)				14	14	
6/26 (金)		ا 1 کست مل	トエム	1.2.2	14 テス	
6/27 (±)		、ピ).	カナヤ			
6/28 (日)	15					
6/29 (月)	15	15				
6/30 (火)		15				
						ر ا

	1	1	1	I	1	
2026	月	火	水	木	金	土
7/1 (水)			15	•		
7/2 (木)				15		
7/3 (金)					15	
7/4 (土)						15
7/5 (日)						
7/6 (月)	16					
7/7 (火)		16				
7/8 (水)			16			
7/9 (木)				16		
7/10 (金)					16	
7/11 (土)						16
7/12 (日)						
7/13 (月)	17					
7/14 (火)		17				
7/15 (水)			17			
7/16 (木)				17		
7/17 (金)					17	
7/18 (土)						17
7/19 (日)						
7/20 (月)						
7/21 (火)						
7/22 (水)						
7/23 (木)						
7/24 (金)						
7/25 (土)						
7/26 (日)						
7/27 (月)						
7/28 (火)						
7/29 (水)						
7/30 (木)						
7/31 (金)						

[後期]

2026	月	火	水	木	金	±
8/1 (±)						
8/2 (日)						
8/3 (月)						
8/4 (火)						
8/5 (水)						
8/6 (木)						
8/7 (金)						
8/8 (±)						
8/9 (日)						
8/10 (月)						
8/11 (火)						
8/12 (水)						
8/13 (木)						
8/14 (金)						
8/15 (±)						
8/16 (日)						
8/17 (月)						
8/18 (火)						
8/19 (水)						
8/20 (木)						
8/21 (金)						
8/22 (±)						
8/23 (日)	7	セア:	カチャ	レンシ	ジテス	١-
8/24 (月)						
8/25 (火)						
8/26 (水)						
8/27 (木)						
8/28 (金)						
8/29 (±)						
8/30 (日)						
8/31 (月)						

2026	月	火	水	木	金	土
9/1 (火)						
9/2 (水)						
9/3 (木)						
9/4 (金)						
9/5 (土)						
9/6 (日)						
9/7 (月)	1					
9/8 (火)		1				
9/9 (水)			1			
9/10 (木)				1		
9/11 (金)					1	
9/12 (土)						1
9/13 (日)						
9/14 (月)	2					
9/15 (火)		2				
9/16 (水)			2			
9/17 (木)				2		
9/18 (金)					2	
9/19 (土)						2
9/20 (日)						
9/21 (月)						
9/22 (火)						
9/23 (水)						
9/24 (木)				3		
9/25 (金)					3	
9/26 (土)						3
9/27 (日)						
9/28 (月)	3					
9/29 (火)		3				
9/30 (水)			3			

2026	月	火	水	木	金	±
10/1 (木)						
10/2 (金)						
10/3 (土)						
10/4 (日)						
10/5 (月)	JT					
10/6 (火)		JT				
10/7 (水)			JT			
10/8 (未)				JT		
10/9 (金)					JT	
10/10 (±)						JT
10/11 (日)						
10/12 (月)						
10/13 (火)		4				
10/14 (水)			4			
10/15 (未)				4		
10/16 (金)					4	
10/17 (土)						4
10/18 (日)						
10/19 (月)	4					
10/20 (火)		5				
10/21 (水)			5			
10/22 (木)				5		
10/23 (金)					5	
10/24 (土)						5
10/25 (日)						
10/26 (月)	5					
10/27 (火)						
10/28 (水)						
10/29 (木)						
10/30 (金)						
10/31 (±)						

0000	_	.1.	1.		_	
2026	月	火	水	木	金	<u>±</u>
11/1 (日)						
11/2 (月)						
11/3 (火)		全国組	充一小	学生	テスト	
11/4 (水)						
11/5 (木)						
11/6 (金)						
11/7 (±)						6
11/8 (日)						
11/9 (月)	6					
11/10 (火)		6				
11/11 (水)			6			
11/12 (木)				6		
11/13 (金)					6	
11/14 (±)						7
11/15 (日)						
11/16 (月)	7					
11/17 (火)		7				
11/18 (水)			7			
11/19 (木)				7		
11/20 (金)					7	
11/21 (±)						8
11/22 (日)						
11/23 (月)	8					
11/24 (火)		8				
11/25 (水)			8			
11/26 (未)				8		
11/27 (金)					8	
11/28 (±)	Г	フセア	カチャ	レンシ	ジテス	-
11/29 (日)						
11/30 (月)						

2026	月	火	水	木	金	±
12/1 (火)		9				
12/2 (水)			9			
12/3 (未)				9		
12/4 (金)					9	
12/5 (土)						9
12/6 (日)						
12/7 (月)	9					
12/8 (火)		10				
12/9 (水)			10			
12/10 (木)				10		
12/11 (金)					10	
12/12 (土)						10
12/13 (日)						
12/14 (月)	10					
12/15 (火)		11				
12/16 (水)			11			
12/17 (木)				11		
12/18 (金)					11	
12/19 (土)						11
12/20 (日)						
12/21 (月)	11					
12/22 (火)						
12/23 (水)						
12/24 (木)						
12/25 (金)						
12/26 (土)						
12/27 (日)						
12/28 (月)						
12/29 (火)						
12/30 (水)						
12/31 (未)						

2027	月	火	水	木	金	±
1/1 (金)						
1/2 (土)						
1/3 (日)						
1/4 (月)						
1/5 (火)						
1/6 (水)						
1/7 (木)						
1/8 (金)						
1/9 (土)						12
1/10 (日)						
1/11 (月)	12					
1/12 (火)		12				
1/13 (水)			12			
1/14 (木)				12		
1/15 (金)					12	
1/16 (土)						JT
1/17 (日)						
1/18 (月)	JT					
1/19 (火)		JT				
1/20 (水)			JT			
1/21 (木)				JT		
1/22 (金)					JT	
1/23 (土)						13
1/24 (日)						
1/25 (月)	13					
1/26 (火)		13				
1/27 (水)			13			
1/28 (木)				13		
1/29 (金)					13	
1/30 (±)						
1/31 (日)						,

※「JT」はジャンプテストを表します。 ※上記の授業予定は変更になる場合があります。

